





### 【アンケート結果の考察】

#### ○これまでとの変化があった項目

設問2「日本や世界には様々な人権問題があることを知っている。」では、これまでよりも肯定的な回答をしている児童が増えました。また、設問3「それぞれの人権問題について知っていますか。」では、同和問題、アイヌ、外国人、ハンセン病について、肯定的な回答をしている児童が増えました。様々な授業を通して、人権問題についての知識が身に付いてきています。特にハンセン病については人権集会で学んだことであるため、9割の児童が知っているという回答をしました。

設問8「自分にはよいところがある。」では、これまでよりもよいところがある、と答える児童が少し増えました。しかし、設問9「友達や家族、先生から認められている。」は、これまでとあまり変化が見られませんでした。自己肯定感の低い児童や、認められていないと感じる児童もまだ多いことから、これからもよいところや頑張ったことは積極的に伝え、自己肯定感を高めていく必要があると考えられます。ご家庭でもぜひ、子どもたちのよいところを認め、褒めていただきますようお願いいたします。

設問11「クラスや学校をよくするために、何をしたらよいか考えている。」と設問12「自分が住んでいる地域や社会をよくするために、何をしたらよいか考えている。」では、これまでよりも肯定的な回答をしている児童の割合が増えました。以前よりも他者のことを考えて生活することができていて、2年間の成果であると考えられます。

#### ◎教職員を対象とした人権に関するワークショップ 1月12日（金）

外国人児童への支援をテーマに職員研修が行われました。

外国人児童が直面する壁について、過去の事例を基に学びました。思い込みをせず、それぞれの児童に合った支援が大切だということを実感しました。



#### 【保護者の皆様へのアンケートのお願い】

2年間、人権だよりを読んでくださってありがとうございました。人権だよりに関するアンケートのご協力をお願いします。別紙アンケートにご記入の上、お子様を通して2月26日（月）までに回答をお願いします。全児童配布しますので、それぞれのお子様の担任に提出をお願いします。



